

平成30年 東北大学後期日程試験【 英語 】 問題分析

1 今年（H30）の傾向

総評・講評（大問毎に）

【総評】

大問Ⅰ：論説文読解、大問Ⅱ：ディベート文読解、大問Ⅲ：和文英訳、の大問3問構成。設問数は大問Ⅰ：5、大問Ⅱ：3、大問Ⅲ：3。昨年に引き続き、自分の意見を英語で論述する課題が大問Ⅱに課され、客観問題が設問数で考えると昨年と同様の3題課されたが、その内訳は、4つの選択肢から一つを選ぶ問題が計7問、6つの選択肢の中から4つの正解を選ぶ問題が1問となっており、選択肢自体の数は昨年よりも増えている。

問題全体の記述量は昨年に比べて減少したが、大問Ⅰの文章自体がやや難化しており、設問(特に問2の下線部説明)の難度もやや上がった。また大問Ⅲの英作文の数がひとつ増えてその難度もやや上がったことを考えると、問題全体の難度としてはやや難化したと言える。

【個別大問分析Ⅰ】

人工知能が人間の労働力に与える影響について書かれた文章を読解する問題。出典はNick Bostrom著“Superintelligence: Path, Dangers, Strategies”。和訳2題、説明記述(日本語)2題、客観問題(4択×3)1題の、設問5問構成。

問1：下線部和訳問題。not only A but also Bの構文と倒置が理解できるか、接続詞onceの後にS+be省略があることに気付けるかが、構造上の大きなポイント。

問2：下線部説明問題。本文にある例を用いて下線部を日本語で説明する。解答に必要な具体例は、下線直後のfor instanceに着目すれば探しやすい。下線部の1行下にあるconsciously experiencing、さらに下の行のphenomenal experience、またさらに5行下のsubjective experiencesが、下線部に含まれるthe inner lifeの言い換えであることに気が付けば解答の方針も見えてくる。

問3：下線部説明問題。前問同様、本文にある例を用いて下線部を日本語で説明する。必要な具体例はやはり下線部の直後にあり、探しやすい。あるものの補完物にすぎなかったものがあるものにとって代わってしまう、というストーリーがわかり易く記述できるかがポイント。

問4：下線部和訳問題。仮定法過去の文になっている。二つ目のダッシュ“—”の後が帰結節。条件節中の主語はあくまで機械装置であること、機械と生きている馬との対比についての内容であることを理解すれば、run on~「~を燃料/動力源とする」などの表現にも敏感に反応できるはずだ。

問5：空所補充(各空所4択)問題。空所前後の文意を正しくとれていれば、それほど難しく正解選択肢が見えるだろう。

【個別大問分析Ⅱ】

ディベート形式での出題は昨年同様で、科学・技術や健康などのテーマをとりあげている。本文内容の大半はドローン技術に関する4人の意見陳述であり、問1、問2が関係している。

記号での空欄補充が4題、1文単位での記号による本文補充が4題、英語による意見陳述が1題であり、本文の読解量・質ともに昨年と同程度である。

問1 本文中の空欄を補充する4択問題で、各語の語法と文脈で正答を選びたい。①は(ア) deliver が入る。deliver には「~を運ぶ」のほかに「(評決など)を下す」の意味がある。1文全体の意味は「パネル評価は最終トピックの結論から30分以内に最終決定を()する。」となる。②は(ウ) application 「応用・適用」が入る。1文全体の意味は「ドローンはまた、消費者としての我々の生活を改善するだろう商業的な()の潜在性を有している。」となる。③は(エ) precedent 「先例」が入る。1文全体の意味は「無垢の市民が住む敵対的な場にこの新しいが頼りにならない機械を使うことによって、軍は悪しき()を打ち立てている。」となる。現在進行形

であることと、by using 以下から (ウ) の goal 「目的」は不適。④は (ア) assess 「～を査定評価する、値踏みする」が入る。1 文全体の意味は「危機の明白なイメージを人に与え、安全な距離からその状況を () するために、いまや操作者はドローンやカメラを使うことが出来る。」となる。

問 2 本文中の空欄に入る 1 文を記号で補充する問題。4 人の議論参加者の意見を踏まえることで選択肢が限定できるが、その上で正確なそれぞれの主張を掴みたい。

(A) は (エ) が入る。(オ) と迷うが、具体的に新たな職が示されているというよりは、商業面での利点が述べられている。(B) は (イ) が入る。発言冒頭にドローンは違法とされるべき旨が述べられている。(C) は (ア) が入る。空欄の 2 文前に with time とあり、「時を経るにつれドローン技術は改良されていく」と時間が意識されていることから (ア) を選ぶ。(B) と (C) はそれぞれ迷うが正確に発言内容を掴みたい。(D) は (カ) が入る。一貫して災害時などにおける探索と救助が発言の趣旨になっている。

問 3 第 2 のトピックの健康に関して「朝食はその日のうちで最も大切な食事か」という間に英語で答える問題。条件として少なくとも 1 つ以上の理由を述べる必要があり、さらに司会者の冒頭発言にある「明白な例を使って」「はっきりと正確に」も意識したい。解答例では朝食が大事である意見の理由として摂らない事による集中力低下を、大事ではない意見の理由として生活様式の多様化による相対的重要度の低下や昼食の意義を述べた。

【個別大問分析Ⅲ】

出典は『理不尽な進化—遺伝子と運のあいだ』（吉川浩満著）。進化論が激しい議論を引き起こすほど多くの人々の関心を集め続けてきたことを述べた文章。英訳すべき下線部は 3 か所あり、どれも決して短くはない。また、単語ごとに切り分けるような仕方では自然な英語にならない。一定の語句のまとまりで筆者の言わんとしていることを考え、その意味が反映できるように英語に訳していく必要がある。英語

の語彙力や文法力はもちろんのこと、日本語で書かれている事柄の意味を正確に捉える幅広い読解力と表現力が要求されている。

(A)

第一文の「昔から～知られている」は現在完了で表現できる。第二文の「憎しみに満ちた罵り合いを展開する」は「憎しみに満ちたまま」と「相手を非難する(罵る)」に分けて、動詞＋分詞構文で表現すると書きやすい。また、「進化論 the theory of evolution」や「論争 dispute/controversy」は長文で見たことがあるだろう。「読む」を「書く」に繋げる意識をもってこうした文に取り組むとスムーズに作文することができる。

(B)

日本語では文末に来る「これが私の考えである」は、そのまま英文の最後で表現するのであれば、それまでの部分と文を分けて二文構成にする必要がある。一文でまとめるのならば、It is my opinion that...のように書き始めるとよい。また、「同じ根っこから生じてくる」は直訳して stem from the same root でもよいが、「同じ根本を有する」と考えて have the same root と訳してもよいだろう。「あられ方は異なれど」は「根が同じである」と対比されており、「論争」や「混乱」の表面的な見え方が異なることを意味している点にも注意したい。

(C)

第一文は下線部(A)の「進化論は～激しい論争を巻き起こす」に対応して「進化論は～激しい反応を呼び起こしてきた」と述べられている。この部分を軸にして現在完了の構文を作り、激しい反応の具体例として「熱烈な愛と憎しみ」「肯定と否定」を補おう。第二文は修辞疑問文を作る。「魅了してやまない」は「魅了し続けてきた」と捉え直せば現在完了で表現できる。

2 合否ライン（予想）※他の教科が合格ラインをとったときの得点（%）予想

| | |
|------|-----|
| 経済学部 | 60% |
|------|-----|

3 来年受験する生徒へのアドバイス

今年度は昨年よりもやや重厚な問題になっており、全体としてやや難化したと言える。構文の直訳、単語帳にある意味の丸暗記だけでは訳しづらい文も多かったため、英語という科目の枠を超えて、何事にも興味、関心を寄せ、幅広く学んできた生徒が有利となる内容と言える。

合格解答を書ききるためには、やはり長文読解力が何よりも求められる。問題となっている下線部を和訳したり理解したりするには、その部分だけの解釈だけでは正確さを欠くことになる。正確な解答のためには、全体の中での含意を読み取る必要があるからだ。文法、語法の知識は当然のことだが、全体を見通す力と深い思考力が求められている。

英作文についても、下線部は全体の一部であることを念頭に置いて取り組まなければならない。もちろん基本的な文法、語法の誤りは致命的な失点につながりかねない。正確な文法をマスターし、文脈上もすぐれた英文を書くためには、指導者による添削を受けるのが一番だ。英作文は学力差が出やすい部分であるが、言い方を変えれば努力が確実に結果となる部分でもあるので積極的な学習を行って欲しい。

後期日程の試験ではあるが、読解すべき内容、取り組むべき設問の形式には、前期試験と共通する部分が多い。前期、後期を問わずこれまでの東北大の過去問を丁寧に演習し、指導者に自分の解答を添削してもらって学習を続けよう。

覚えることが多くあるのが英語という教科の特徴だが、苦手な人であっても努力すれば必ず成果があらわれる教科でもある。特別な才能は不要だ。覚悟と希望を持って学習して欲しい。